

教 員 氏 名	上 村 晶	職 位	教 授
最 終 学 歴	信州大学大学院 教育学研究科 修士課程修了 名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程修了		
学 位	修士（教育学）・博士（人間文化）		
役 職	教育・保育職 支援センター長	委員会	教育・保育職支援センター、チャイルドエデュ ケア研究所、実習委員会、大学評議会、大学評 価委員会
担 当 科 目	【学部】保育者論、保育カリキュラム論、保幼小連携基礎論、教育実習指導Ⅲ、教育実習Ⅲ、 教育・保育学特講Ⅱ、教職実践演習(幼/小)、基礎演習Ⅰ/Ⅱ、総合演習ⅡA/ⅡB、卒業研究演習Ⅰ/Ⅱ、 卒業研究 【大学院】幼児教育学特論Ⅰ/Ⅱ、課題研究Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ		
教科書・教材・教 育方法の実践例	1. 『新・保育シリーズ 保育者論』(2024.10), 編者/共著, 学術図書出版社 2. 『TEA と質的探究用語集』(2025.03), 共著, 誠信書房 3. 『カタログ TEA』(2023.02), 共著, 新曜社 4. 『コンパス：子ども理解 ―エピソードから考える理論と援助』(2021.04), 共著, 建帛社 5. 『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』(2021.05), 共著, ミネルヴァ書房 6. 『保育カリキュラム論 ―計画と評価―』(2019.03), 共著, 建帛社		
教育研究業績	1. 保育者は子どもとどのようにわかり合おうとするのか, 単著, 風間書房, 2022.01. 2. ミドルリーダー研修後の中堅保育者に対する継続支援の意義 ―研修カリキュラムの体 系化を見据えた意識変容プロセスの追跡―, 単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 31, 1-14, 2025.03. 3. 外国にルーツのある子どもの発達の課題に気づき障害診断に至るまでのプロセス ―関 係構築過程における保育者の葛藤に着目して―, 単著(査読有), 保育学研究, 62(3), 35- 46, 2024.12. 4. ミドルリーダー研修における協働型問題解決研修の意義 ―中堅保育者の学びと意識変 容にみる研修カリキュラムのあり方とは―, 単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 30, 17-31, 2024.11. 5. 幼児の「遊び込み」に関する実践的研究 ―5歳児が遊びこむ姿に着目して―, 共著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 29, 89-106. 2024.03. 6. 保育者と子どもの関係性を可視的に描く意義, 単著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 26, 9-23, 2022.11. 7. 初任保育者における子ども理解のゆきづまりの構造, 単著(査読有), 保育学研究, 59(1), 57-68, 2021.08. 8. 幼児期における主体的・対話的で深い学びに関する一考察 ―幼児期の教育における見 方・考え方との関連性から―, 共著, 桜花学園大学保育学部研究紀要, 21, 157-178, 2020.3. 9. 「年度途中のクラス担当者変更」は保育者と子どもの関係構築プロセスにどのような影 響をもたらすのか ―保育者の葛藤の諸相に着目して―, 単著(査読有), 保育学研究, 57(3), 32-43, 2019.12. 10. 保育者養成校におけるアクティブ・ラーニング活用の実態と課題に関する研究 ―全国 保育士養成協議会研究発表論文集を対象として―, 共著, 名古屋市立大学大学院人間文 化研究科人間文化研究, 28, 37-48, 2017.7. 11. 初任保育者が子どもとわかり合おうとする関係構築プロセス, 単著(査読有), 保育学研 究, 54(2), 71-82, 2016.12. 12. 保育者養成段階における保育実践力の向上に関する実証的研究 ―視聴覚教材を活用 した子ども理解の深化と省察プロセスの体得を目指した取組―, 単著(査読有), 全国保 育士養成研究, 30, 11-20, 2013.3.		
所属学会	日本保育学会・日本乳幼児教育学会・日本発達心理学会・日本質的心理学会・日本教育方法 学会・日本保育者養成教育学会・中部教育学会・TEA と質的探究学会・国際幼児教育学会		